

物理学会として（１）実験実習の指導（講師１名、実験 TA2名）（２）ポスター展示および体験実験（物理学会員２名、実験 TA2名）を行った。また、他学会との共同で（３）国際交流プログラム（物理学会員５名、地球惑星科学連合会員２名）を実施した。その際の様子は以下の写真の通り。

（１）実験実習テーマ

「地磁気を測ってみよう」

講師：近藤泰洋（物理オリンピック日本委員会理事、日本物理学会）

7名の生徒が2時間半実習しました。プリアンプで増幅した信号をホール素子で測定し、地磁気を測定した。実験室ではシールドの影響が見受けられたので、野外で測定し、期待値に近い値が得られた。



（２）ポスター１：不思議な原子核の世界
原子核の成り立ち、構造から分布や最新の研究まで高校ではあまり学習しない内容を紹介した。

ポスター２：手作りエネルギーに挑戦

ペルチェ素子を用いた温度差発電の原理と応用を紹介した。また、生徒さん達に自分の体温と保冷剤の温度差で発電しプロペラを回してもらった。



（３）国際交流プログラム

生徒対象では、中高生と留学生（TA13名）が英語で会話をする３つのプログラムを企画、実施し、前年以上の盛況ぶりであった。教員保護者対象では、外国人学生や留学経験者など6名の協力を得て「海外理工系事情」を紹介した。生徒の留学に保護者の興味が高いことに驚かされた。

